

## 第232回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和6年9月9日(月) 14:00~15:20  
場所 <Web 会議により実施 (Microsoft Teams を使用) >  
本部棟5階 大会議室, 医学部本部棟5階 第一会議室  
出席者 大谷学長, 増永理事, 松崎理事, 金山理事, 椎名理事, 大川理事, 片岡副学長,  
齋藤副学長, 高橋哲副学長, 亀井副学長, 小俣副学長, 三浦副学長, 鬼形副学長,  
浅田法文学部長, 川路教育学部長, 磯村人間科学部長, 石原医学部長,  
伊藤総合理工学部長, 三原材料エネルギー学部長, 上野生物資源科学部長,  
丸橋評議員, 縄田評議員, 高橋悟評議員, 竹谷評議員, 山田評議員, 小林評議員,  
富澤評議員, 境評議員, 浦野評議員, 津本評議員, 半田評議員, 黒岩評議員  
欠席者 河野副学長  
オブザーバー 吉田監事, 栗原監事  
〔陪席: 事務局次長, 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長,  
総務部長, 財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長,  
監査室長事務取扱〕

### 議決事項1 島根大学の大学院人材育成機能強化の方向性について

- 増永理事から資料に基づき島根大学の大学院人材育成機能強化の方向性について説明があった。
- 三原評議員から, 材料エネルギー学部では令和9年度の大学院設置に向けた検討を行っているが, 非常に厳しいスケジュールであると認識しており, 研究科改組の方向性の検討については迅速に進めていく必要があると考えるとの意見があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

### 議決事項2 国立大学法人島根大学と独立行政法人中小企業基盤整備機構との包括的連携に関する協定の締結について

- 学長から資料に基づき国立大学法人島根大学と独立行政法人中小企業基盤整備機構との包括的連携に関する協定の締結について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

### 報告事項1 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について

- 増永理事から資料に基づき地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について報告があった。

### 報告事項2 広島オフィスの閉所について

- 増永理事から資料に基づき広島オフィスの閉所について報告があった。

### 報告事項3 広報マニュアル(通常編)の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき広報マニュアル(通常編)の一部改正について報告があった。

### 報告事項4 広報マニュアル(危機管理編)の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき広報マニュアル(危機管理編)の一部改正について報告があった。

#### 報告事項5 令和6年度FD・SD研修計画について

- 松崎理事から資料に基づき令和6年度FD・SD研修計画について報告があった。

#### 報告事項6 令和7年度概算要求について

- 大川理事から資料に基づき令和7年度概算要求について報告があった。

#### 報告事項7 令和6年度「防火・防災総合訓練（松江キャンパス）」について

- 大川理事から資料に基づき令和6年度「防火・防災総合訓練（松江キャンパス）」について報告があった。
- 松崎理事から、障がいを持つ学生の中には避難訓練への参加に負担を感じる者もいるため、学生への周知にあたっては一定の配慮が必要との意見があった。
- 齋藤評議員から、本学における防災用ヘルメットの配備状況について質問があり、大川理事から事務部局には配備しているが、各職員や学生への配付等についてどのような対応が可能かは検討が必要と考えるとの回答があった。

#### 報告事項8 令和6年度教員講習開設事業費等補助金の選定結果について

- 川路教育学部長から資料に基づき令和6年度教員講習開設事業費等補助金の選定結果について報告があった。

#### 報告事項9 国際交流協定の新規締結・更新・終結について

- 報告事項9は書面をもって報告に代えた。

#### 報告事項10 教員の採用等について

- 報告事項10は書面をもって報告に代えた。

#### その他

- 三浦評議員から、企業から大学院生向けの求人票を受領することがあるが、全学のキャリア担当では大学院生向けの求人票について管理していないとのことであった。大学院機能強化の取組に伴い大学院生数も増加していくものと考えられることから、大学院生の就職支援に係る全学的な仕組み作りについても検討して欲しいとの意見があった。  
松崎理事から、キャリアスUCというオンライン上の求人票閲覧システムがあり、企業側が様々な求人情報を登録できるようになっているため、そちらを活用いただくなどの方法もあるのではないかと発言があった。  
境評議員から、昨年度、学生支援委員会就職支援小委員会において各学部・研究科における就職対策について情報収集を行っており、集約した情報を基に今後の対応を検討している状況であるとの発言があった。
- 亀井評議員から、現在、外国人教員支援コンシェルジュが不在となっているため、外国人教員が事務手続等を行う際等に困難が生じているとの声が上がっているとの発言があった。  
学長から、以前在籍していたコンシェルジュには多大な負担がかかっていたため、グローバル化推進本部において特定の個人に負担がかからないようサポート体制の構築について検討を行っているものと理解しているとの発言があり、続けて片岡評議員から課題については認識しており、引き続き検討していくとの発言があった。